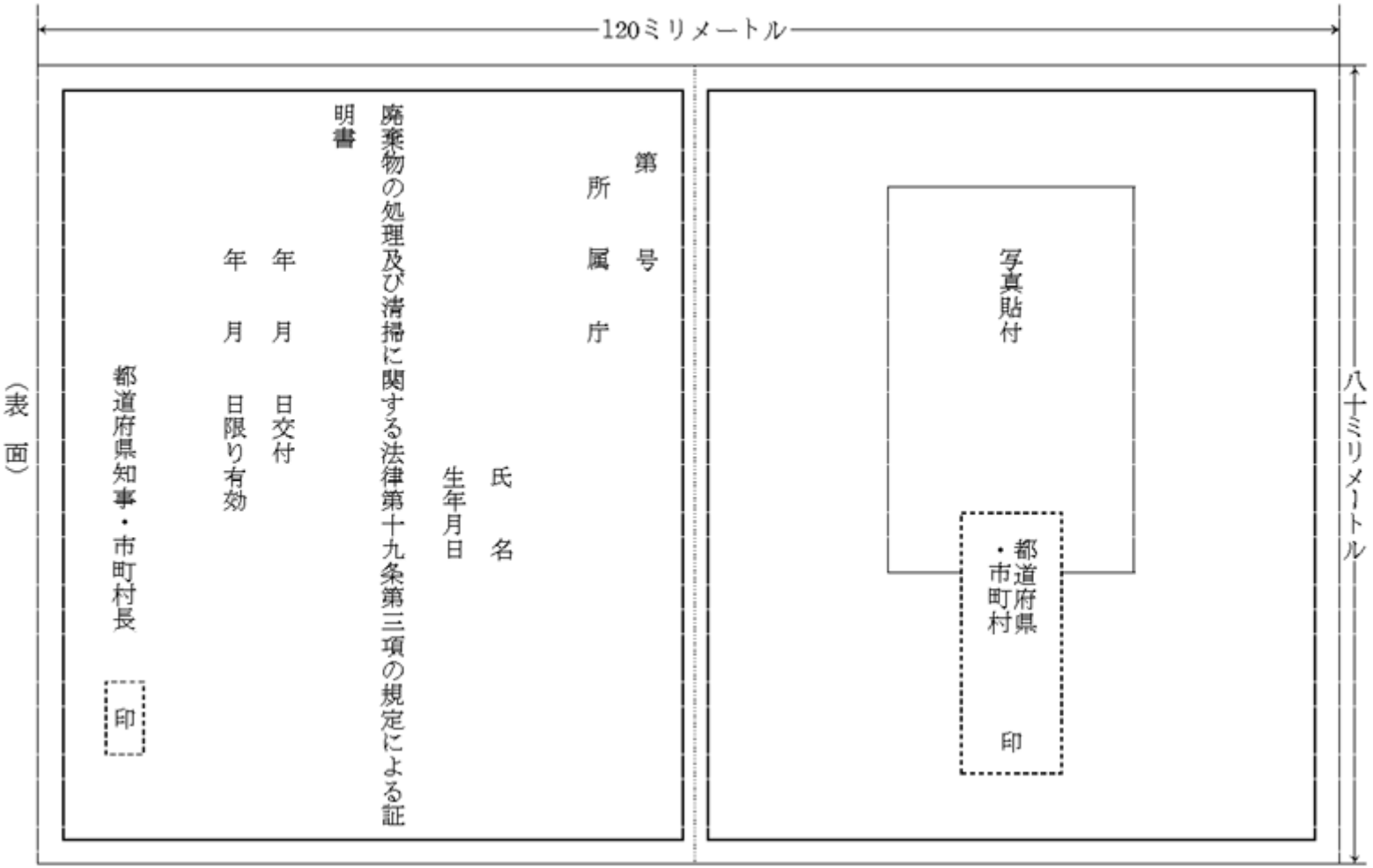
様式第三十六号（第十四条関係）



この証明書を携帯する者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律により立入検査をする職権を行うものであり、その関係条文は次のとおりである。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律抜粋

（立入検査）

第十九条　都道府県知事又は市町村長は、この法律の施行に必要な限度において、その職員に、事業者、一般廃棄物若しくは産業廃棄物若しくは処分を業とする者その他の関係者の事務所、事業場、車両、船舶その他の場所、一般廃棄物処理施設若しくは産業廃棄物処理施設のある土地若しくは建物若しくは第十五条の十七第一項の政令で定める土地に立ち入り、廃棄物若しくは廃棄物であることの疑いのある物の保管、収集、運搬若しくは処分、一般廃棄物処理施設若しくは産業廃棄物処理施設の構造若しくは同項の政令で定める土地の状況若しくは指定区域内における土地の形質の変更に関し、帳簿書類その他の物件を検査させ、又は試験の用に供するのに必要な限度において廃棄物若しくは廃棄物であることの疑いのある物を無償で収去させることができる。

2　環境大臣は、この法律の施行に必要な限度において、その職員に、再生利用認定業者、広域的処理認定業者、広域的処理認定業者の事務所、事業場、車両、船舶その他の場所若しくは第九条の八第一項若しくは第十五条の四の二第一項、第九条の九第一項若しくは第十五条の四の三第一項若しくは第九条の十第一項若しくは第十五条の四第一項の認定に係る施設のある土地若しくは建物若しくは国外廃棄物若しくは国外廃棄物であることの疑いのある物を輸入しようとする者若しくは輸入した者若しくは輸入しようとすることの疑いのある物を輸出しようとする廃棄物若しくは廃棄物であることの疑いのある物の輸出に関し、事業場その他の場所に立ち入り、当該認定に係る収集、運搬若しくは処分若しくは国外廃棄物若しくは廃棄物であることの疑いのある物の輸入若しくは廃棄物若しくは帳簿書類その他の物件を検査させ、又は試験の用に供するのに必要な限度において廃棄物若しくは廃棄物であることの疑いのある物を無償で収去させることができる。

3　前二項の規定により立入検査をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係人に提示しなければならない。

4　第一項及び第二項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

第二十四条の三　第十八条第一項又は第十九条第一項（第十七条の三において準用する場合を含む。）の規定により都道府県知事の権限に属する事務は、環境省令で定めるところにより、その全部又は一部を地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百五十二条の十九第一項の指定都市（以下単に「指定都市」という。）の長が行うこととする。この場合においては、この法律の規定中都道府県知事に関する規定として環境大臣に関する規定（当該事務に係る部分に限る。）は、環境大臣に適用があるものとする。

2　（略）

（裏面）